

# 平成27年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	当町は沿岸南部から見ると被災状況は限定的であったため、早期に適切に役場が対応した事もあり、回復したと判断できる。ただ、一部被災（家屋）した方々は高台、安全な場所への移転、かさあげした土地での建替に向けて現在進行中である。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興公営住宅への入居がはじまり、暮らしは安定してきている。ただし、コンサルタントの提示するまちづくりは、個性のない、金太郎飴のようなまちが乱立し、やがては人口減少につながる。
回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	日常生活は以前と変わらぬ生活ができています。市役所の方には、3年以上がたってもいい対応していただき感謝しています。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	生活苦は見えても、あまり感じない程度に回復したと思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	久慈地区は、他の被災地より被害が少なかったため、進んでいる方だと思います。
回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	前回の時は高台の区画整理をしている段階だったが、区画も決まり抽選でこの土地になるのかも決まった。なんとなくそれが決まっただけで、やっとか（やっとここまで来たのか）・・・と嬉しくなった。家を建てて、すむという所まではきっとまだまだだとは思いますが、また1歩前進できたように思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	最近（3カ月）の生活においては、すでに住環境の整備は終わっており、変わりはないと思う。しかしながら、雇用については、復興支援事業の対象者となっている方は、事業終了になることにより、失業者となる不安の声はよく聞かれる。事業所においても、事業終了時において、継続雇用する余裕がないため、失業者が増える可能性があると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅の再建が着実に進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	私が住んでいる地域の防災集団移転先の工事がようやく始まったことで、今後の住まいへの展望が開けてきた被災者が多くなったようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	住宅再建、三陸道路の整備等は目に見えて進んでいると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	この3カ月の間に、家を再建され仮設を出て行く方が、増えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住宅再建についてはやや回復。復興住宅等の整備は進んでいる様に見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	一人一人又一人と仮設を出て土地を買い、中古の家を買い、被災から一歩でも前に出、やや回復、生活しております。復興公営住宅に入居の方も希望をもってカーテン他、ガスレンジ・・・等、笑顔で買い物に夢をもってます。被災から4年目に入りおちつきが出てゆったりとした気持ちでいらんでいます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の住んでいる関谷担い手仮設団地の動向（平成27年2月現在）①平成23年の当初80世帯②転居世帯17世帯（新築・中古住宅購入等で転居＝自立復興）③転入世帯9世帯④現在世帯72世帯。高台移転などの土地造成が織笠地区で進み、4月には抽選が行われる模様。柳沢地区にあっては、被災町営住宅の改修に取り掛かり、生活の根拠となる住居の復興が、若干見られるようになって来た。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台移転先宅地申請が始まりました。住環境が整備されると、生活も落ちつき、すべてが安定してくると思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	店舗も住居も仮設住まいですが皆様笑顔で落ち付いた暮らしに戻った感じがす。経済面は十分ではないけど仮設での生活にもなれ、うまく遣り繰りをしながら明るく過ごしている様子です。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	1. 仮設住宅に住んでいた被災者の内、自力再建の人達は家を再建してすでに入居している。2. 衣食に困っている被災者がいない。3. 買い物は移動販売車が巡回している。4. 震災直後の雇用創出で応急仮設住宅支援員で雇用された方々は当時は何らかの収入確保となっていたが、支援員の現在の所得では生活してゆくのにも困難であると思う。復興中期となった中での見直しは必要と考える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防災集団移転事業に伴い、住宅再建希望する方や災害公営住宅への入居希望する方の仮申込みも終了し、応募が多い場所の抽選も実施され、現在2回目の仮申込み受付中であり、復興は確実に進んでいると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	一部の公営住宅への入居が始まり、又、入居予定の受付が行われているので、半歩前に進んだのかな。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	正月前に仮設住宅を退去した方も多く見られ、住宅地の空き地には次々と新築されている。けれどスーパー等に行くと客数が以前に比べ少ないと感じる。日中働きに行く人が増えた為か？我が仮設の駐車場も日中は車がほとんど無い。夕方にはそれぞれ戻ってきているが、日曜、祭日の休日にも駐車する車が少なくなったと思う。私が家を再建しようと思っている区画整理地区の進捗はまたまた遅れ3ヶ月～1年程遅れていくとの事。補助金、消費税等の期限を考えるとあせる。早期に他地区に再建した方がよかったのかと。内陸と沿岸の建設坪単価も10万以上も違うという。復興が遅れていい事は一つも無い。仮設住宅の床もギイギイ鳴るし、天井に黒カビが見える。孫も段々大きくなって仮設が狭くなった。荷物も増えた。狭い事で家族同士がぶつかってストレスになる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転のための土地造成が進んでいる。今夏には、住宅への入居が始まる様である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	家を失った半数以上の方々の家が建った。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	あと2ヶ月で移転地の分譲が始まる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	災害公営住宅が完成し、自力再建もどんどん増えている。雇用関係も回復しているようだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	高台移転住宅新築99%できあがって来ました。公営住宅もだいぶすすんでおります。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	宇部川地区ほ場整備事業。野田村の復興住宅。高速道路（復興道路）宇部トンネルの工事。県道、野田平庭線の切替工事。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	ようやく我家も自宅を再建して住む事が出来ましたので回復に至りますが大槌の回復度を考えた場合、ここ3カ月の間に、次々と自宅を再建している様に思われます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	田老地区高台移転先の工期が確定し、移転先の場所が確定した事から、平成28年～平成29年にかけて住宅建築の目標がでた事による、生活の目標が見えて来ている様子
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	住宅を再建している人や、再建の目途が立ったりして、進んでいる。そのため、仮設住宅の空きが目立ち、今後の活用方法に融通が効けば良いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	釜石市内の場合、仮設住宅から恒久住宅（復興住宅）入居のメドが立ったことが被災者に安心を与えていると思う。家賃等の問題で仮設のままでよいという被災者もいるように聞くと、行政と十分な話し合いをして、将来の生活の基盤づくりとするよう被災者も前向きに歩む機会としてほしい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	日常生活に困ることはなくなってきた。様々な団体の支援で、サークル活動等に参加している人もいる。あとは、鉄道の回復による、人の行き来が可能になれば、車を持たない人達の生活が豊かになると思う。しかし、「回復した」の回答にならないのは、精神面で弱っている人達がいるからだ。将来への不安や、働こうとする意欲の低下なのか。大人に元気がない。子育て世代に元気が欲しい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	地域に災害復興住宅の建設が始まり、それが進んでいるため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	仮設に住んでいた方々の移転が進み、ほぼ全員の方が公営住宅や新居に住むことができた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	私の家の近所にある南浜・米田の高台団地には住宅ができてほぼ入居することができているようだ。生活の維持等、まだ軌道に乗ったとはいえないだろうが、ようやく、おちついた暮らしができたといえる。一方、城内高台団地は造成が終わったところ。これから、住宅再建が始まる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	復興住宅や道路などの整備が進んでいるため
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅が少しずつではあるが建設されてきている。盛土も目に見える形で進んでいる状況を確認できるようになった。ただ盛土の上に街が復興する見当はつかない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校まわり、法の脇、金浜、高浜のかさ上げがさかんに行われている。（そこから先はまだ）津軽石保育所跡の住宅建設が行われている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	住宅の建設や復興道路の工事が進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	自力再建、災害公営住宅も整備されて徐々に回復して来たと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	嵩上げ工事や公共施設復旧が進んできた様に感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	公営住宅、高台移転先の建築は進み回復していると感じるが、自主再建で土地を自力で探す方々の行先が未定の被災者が居て、まだ時間がかかると感じます。雇用に関しては、人手不足が未だに続き、出口の見えないトンネル状態です。30年後の人口推移を聞くと現在の半分になる予想が有り、新規参入を計画する事業主は将来の経営状況や返済、労働力を算出すると、諦める方々が多いのではと懸念があり、外国人労働者の受け入れが急務と感じています。今後、被災者が移転した後の仮設住宅を取り壊すのではなく、外国人労働者の居住やI・Uターンの方の一時居住場所として活用するなどが良いのではと考えます。田舎に移住したいが、住まいが探せないと移住を見送った話を聞いた事が有ります。まずは居住を提供し、移り住んでもらうことを先決とすれば、雇用や休耕地の活用、少子化や人口減少の歯止めにも少しでも繋がるのではと考えます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	家を建てて、仮設から新居へ移っている人が、隣村では増えている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自宅再建する人が増え、新しい家があちこちに建ってきた。仕事も震災前と同じようにしている人も増えている。高台移転の土地も整備され、新しい地区の名前も決まった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	村営住宅や、自宅を新築して引っ越し、落ちついて生活されている方が増えました。年末辺りにほとんどの方が引っ越しできて、新しい場所で新年を迎えられたようです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	市内には災害公営住宅が建設されはじめ、目に見える形で次の住まいができてきている。一定のめどが立ったことは皆さんの気もちの中では少し安心感にもつながっているのではないかと感じる。しかし、新しい生活の不安、そして、現状はまだ変わってなく、仮設暮らしはつづいているので、「やや進んでいる」とした。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅、高台移転共に少しずつ完成して、仮設から出られる方も増えてきている。その一方で仮設の撤去の期限が決まり、移転先が決まらない方、撤去までに転出できない方、などの問題がでてきており、その解決がなされていないように感じられる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	(1) 前回同様、あまり進展している様子は見られない。個人資産等の違いによる温度は大きくその差は縮まらない限り、資金不足の人の回復は遠いように思う。(2) 前回同様、個人の生活回復は停滞していると感じる。自立再建者への新たな経済的支援策・導入の検討を願います。土地・建材・工賃などの高騰を抑制する政策を強く要望します。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	まだまだ仮設に住んでいる人の方が多い。子供達の公園にまだ仮設がある。子供本来の成長に影響（心）を与えていると感じる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	災害公営住宅がまだ完成していないので、仮設住宅で年を越した方もいらっしゃることを考えると、どちらともいえないです。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	個人個人と話をすると、まだまだ生活環境が整っていないことへの不安がきかれる。まずは、生活環境、生活基盤が整ってこそ、次のことを考える余裕が出てくるのだと思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	高台の造成工事は進み、4月頃には完成するとの話です。しかし二線堤の工事が完成（市役所の話しでは6月頃に完成するとのことですが、噂では半年ぐらいい遅れるのではと。）しないと、上下水道等のライフラインがなく住宅再建出来ず、また、資材が高騰しており、不安である。中高年の働ける仕事、職場がなく、生活が回復しているとは思えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	周囲はその方によって、事情がちがうので、いちがいに言えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自宅を再建し、仮設住宅より移転した人は増えてきました。高台移転予定地の整備が進んでいません。又、公営住宅の建築工事も未着工で、これからの生活が不安です。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	未だ仮設住宅で生活している人が大半である。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	通常の生活に変化は見られない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	仮設住宅での生活ではまだ生活の回復とはいかない。早期の復興住宅の完成が望まれる。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	3か月間の生活はあまりかわらない！
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台移転他の整備が進まず、まだ地元の自力再建がゼロ件で転入による借地再建が1軒建っただけです。小学校跡地の公営住宅がそろそろ完成しそうです。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台・かさ上げの工事は進んでいるようだけれども、かたちが見えてこない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	自宅の再建についてある程度、先が見えてきた事と仕事もだんだん安定してきていると思う。けど、まだ復興途中の工事中であり、市道や河川などまだまだ手つかずの所が多くあり、キケンな所があるという事で、まだまだかなと思う。ただ盛土や、公営住宅など完成して入居もしているので、確実に進んでいると思う。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	市内を見回すと仮設住宅がいまだに多くあります。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	スクールバスでの登下校、校庭がない。遊具がない、などこの4年近く、なんら変化はない。校庭を知らない子どもたちは確実に出てくる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	（1）親せきの漁業関係者の口から震災の影響についての話をあまり聞かなくなったことから「やや回復」ただ、（2）震災により増えた借金は、まだ残っており、先行きに不安を感じている様子。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	なかなか自宅を再建できない状況にあるようです。仮設住宅もなくなりません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	新築を行う家が増え、生活は元にもどってきた感がある。しかし、金銭的に見ると、新築によって生活が豊かになったかには疑問が残る。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	ある程度回復に近づいていると思う人もいるが、なかなか進んでいないと思える人もいる現状から、どちらとも言えない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住宅等に居住している皆さんの状況がなかなか進展していないこと。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	小学校、中学校のグラウンドがいまだに使えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	盛土の完成や、復興住宅は未だ進んでいないが、家を建てて、新しい生活を始めている人もいるのが現実だ。しかし、仮設に取り残されている人は高齢者が多くなり支援は縮小しているのか、ひっそりとして来ている（閉じこもっている人がみられる）精神的フォローが課題と考える。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	被災前と比べるのは最近直接話を聞く機会も無かったので、正直判りかねます。進捗状況を見ると、高台移転や自力再建で仮設から移り住んでいる世帯も増えてきているようですが、まだまだ仮設を出れないという世帯が大多数です。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	かさ上げ等の大型工事は進んでいるように思いますが、個々に目を向けると、なかなか町のイメージが見えて来てないように思えます。高台へ自主移転する人、復興住宅へ移り住む人も多く、かさ上げ後の土地に家を再建する人は色々な問題で少なく、歯抜けのような街並みになるような気がします。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特になし
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	高台移転であちらこちらで造成が進んで建設が進んでいるようにみえるが、なかなかスピードが遅くて、仮設住宅暮らしの人たちが、まだたくさんいる。復興住宅も完成していないところが多い。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	まだ仮設住宅があるため回復したとは言えないが、新築住宅が建ちはじめ、仮設の人達との格差が広がりつつあるように思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	移転先への造成工事が間もなく終わる所なので、住宅再建の話が聞こえてくるようになった。仮設から、復興住宅へ移った方が、隣の人との（復興住宅入居者同士）関係に悩むとの話を聞く事があります。復興住宅は、高齢者の方が多く、何か対策しないといけないと思うので。心のケアもぜひお願いしたいです。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	(1) 進み具合が著しく改善しているとは思えない。被災者個々の回復は以前と変わらない。(2) 道路工事等は進んでいるかに思えるが、周囲の状況はこの3カ月では何も変わっていないように感じる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	復興公営住宅を借りる際、手続き窓口があちらへ、こちらへとまわされ、書類や申請書も窓口の対応がおそく、聞けば「すぐできる」「数日あれば」など、他人事として扱われている感があった。復興の担当者には親切心が感じられなかった。このような対応は改善してほしいです。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	数多くのダンプカーが行きかい、表面的には回復しているように映るけれど、仮設で生活されている方々は、依然多く、個々の生活が元に戻っているとは思われない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	一部の方々は、自宅再建しているが、まだまだ多くの方が仮設住宅で不自由な暮らしを強いられている。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	かさ上げ工事や高台移転予定地域の整備など土木関係の工事は進んでいるものの、住宅再建出来る状況にはないため、依然として仮設暮らしの方が多い。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	被災前の生活にだいぶ近づいてはいますが、この3カ月間は何も変わってない気がします。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	11月（8月）の調査のときの回答と同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	生業（養殖漁業）は生産は被災前に戻った。しかし漁港の整備が遅れ作業所の建設が遅れ、従前の加工作業に支障をきたしている。自立再建で住宅建設を目指しているが、具体的には用地を含め住宅設計図も見直し立っていない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	浸水地域の土盛り工事にやっと取りかかったという状況。当仮設団地から復興公営住宅、又は自宅再建して出て行く人が少ない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台の造成、かさ上げ工事にともなう、仮設道路等は完成しているが、その後の工事が進まない。住宅等が完成しなければ生活環境は変わらない感じがする。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	公営住宅が出来たが、大多数の被災者はまだ仮設での生活のままである。高台の工期が更に延びるとも聞こえてくる。雇用も、土木、建設業がほとんどで今後10年～20年の事を考えると、家を建てるのに長期的な展望が不安であるのではないかと。（あまり前回と変化なし）
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅に住んでいる人がまだ多い。安定した仕事に就くことができないでいる人もいて、経済的格差が広がっている。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設で生活している方々の状況はほとんど変わっていない。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	被災者の心情・・・3年以上、踏ん張って生活してきているが、新居の見通し がつかない人が多く、ストレスがたまっている人が多いように感じるから。 仮設住宅を出たくても出られない現状に疲れがたまっているように感じ ます。一方で・・・仮設住宅に住むことで築き上げてきた人間関係を大切にし たいので、仮設住宅をぎりぎりまで出ないという思い（考え）の人もいるよ うです。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	実際に被災した者にしかわからない。何かを行えばそれでいいという訳では ない。被災者がどのような想いで仮設住宅等に暮らしているか・・・アンケ ートでは説明しがたい。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災された方々の住環境の再建状況（住宅再建、高台移転、公営住宅入居状 況、仮設住宅空き状況）や就労状況などの調査・公表はされていますか？感 覚よりデータで知りたい部分が多いようです。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	引き続き、各事業所の売上、利益とも順調に推移している。
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	被災された企業に対する金融支援は、ほぼ終息。あとは、計画通りに事業が進んで行くか、見守って行きたい。
回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	被災地は建設関係業を中心にバブル状態である。しかし、2～3年後には地元企業の仕事が少なくなり、厳しい経営になると思われる。被災前から、県中部と沿岸部の格差があったが、ますます広がると思う。水産関係は助成金のおかげで被災前より伸びている。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	漁船漁業は大型船、小型船も養殖事業ほぼ事業にとりくんでおるようです。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	「あまちゃん」効果で、まだまだ観光客がおとずれており、おみやげ等も売られているようで、復興支援につながっていると思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	私の周囲においては被災者の生活同様、基盤の整備は終わっており、経済回復はしていると思う。農林水産業の支援というより、復興道路関係において、建設業に重点が置かれているように思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	グループ補助金の活用により被災前の場所で再開した事業所（特に飲食関係）が数店あった。しかしまだ空地が多く、以前の様な商店街の賑わいはない。前同様、以前として労働力不足で事業所は苦悩している。この労働力不足問題を解消しない限り企業の回復はないと痛感する。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	年末・年始で人出もあったのではないかと感じます。求人も出ているので良いはずなのですが、肝心の応募者がこないという話も聞きますので、進んだと言ってよいのか迷うところです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大船渡の12月の有効求人倍率が、2.14倍、3カ月前の9月は2.03倍だったので、一層人手不足となっている。事業の展開規模に見合う労働力の確保が、困難となっている。この人手不足は特定の業種だけというのではなく、多くの業種に共通した課題となっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	公営住宅、自力再建は進んでいるが、消費税等が経済を圧迫している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁港の加工場はまだのため作業に支障ある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田町の浅海養殖業（ワカメ・昆布・ホタテ・カキ・ホヤ）の、復旧復興の基盤が整備された。商業にあっては大型店舗が進出するなど、雇用の促進が見られる。小売商店集合型商店街建築の整備が行われているが、店舗を閉じる業者も数件あることは淋しい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産関係の復興は実感されます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ほ場整備工事がかなり進みました。私の地区では70%位稲作ができます（27年4月から）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	当町の漁業者は持ち前のがんばりで今を一生懸命働いているのが分かります。経済面も良い方向に進んでいると思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	1. 漁業（養殖、漁船、定置）は復旧し、生産量も伸びている。2. 浸水区域の農地は復旧していない。又、今後の浸水区域にあった農地での農業再開希望者は本当に少ない。3. 福島第1原発事故による放射線汚染で減少した原木シイタケ栽培農家も再開がにぶい状態。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業関係については、1年位前から冷凍調理食品製造業等の再開により、徐々に回復していると思われるが、町全体の経済の回復はまだ時間がかかる気がします。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	海岸周辺に水産加工場が建設された。漁業に関しては、漁船や施設など震災前に近づいたと思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	45号線のダンプカーの多いのにびっくりする。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	宇部川地区ほ場整備事業
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	震災前も景気は良くなかったが、今もあまり良いとはいえない。震災前の水準にもどっただけとを感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	海の仕事の様子がかなり回復してきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設店舗から、きちんとした店舗になる店が出てきたため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	漁港もだいぶ復旧している様子。実体はわからないが、海産物が水あげされている様子を見ると、やや回復しているのかなと感じている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	飲食店等が新しい店をかまえたり、新店舗をかまえる予定のお知らせがいくつか見られるようになってきたこと。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	大きく地域経済が落ち込んだという様子は感じられません。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	宮古地区、釜石地区については、前回とそれ程変化はないように思う。山田、大槌については、まだまだのような感じで見ている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	建設業を中心に活気が出てきたと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	業種ごとに温度差がある。（建設関係は忙しそうですが、商業は元気が無いように見える。）復興工事が終わった後が心配。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興関連で林業に関しては、ベニヤやボード類を材料とする針葉樹の需要が多く、チップ材や椎茸ほだ木等の広葉樹類の伐採作業に人が回らないほど忙しいと聞きました。数十年後を考えると、広葉樹は切り株から次の木が芽吹き木が育ちますが、針葉樹は植林等をしてやらないと山が荒れます。全ての事に当てはまりますが、将来を見据えた対策も同時平行で見てこない、回復したと判断出来ないと考えます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	農業はだいぶ回復してきたように思う。漁業はまだ不安定な部分もあるが、特産品の新たなブランドも立ち上げてがんばっている部分もある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	震災前と何ら変わりなく農林水産業は行われているように思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	ほぼ、被災前と同じくらいになったように感じます。ただ、特に漁業関係者からゆっくり話を聞く時間がないので、なんとも言えませんが。人手不足で、給料が安くて大変な福祉関係にはなかなか人が来ません。それなのに、給付単位を減らすって・・・。国のえらい方々は、きちんと分かってくれているのでしょうか？
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	農林漁業関係者はかなり震災以前に近づいているように思われるが、商業（サービス業）は諸々の要因が影響していると思われ、かなり厳しい状況にあると思う。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	当地では、震災により止む無く廃業した方が多い中で、水産加工業を除き、事業を再開した方々の多くは仮設営業であり、物理的にも売上、収益ともに制約を受けざるを得ないと感じます。一方で水産加工業は、一部に風評被害あり、また共通する課題としては、恒常的な製造部門の人手不足です。よって、地域経済の回復が進んでいるかどうかは、設備復旧状況だけでは推し量れず、事業者の決算状況等から検証する必要があると感じます。（数字は説得力があります）
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	現在は、復興工事に伴い、町外から多数の工事関係者が生活、会社、個人とも地元にお金が落ちていることは間違いがないため、それで回復と言えるかどうか？一方、水産加工業はいち早く工場を建て、販路回復に努めた結果、概ね、震災前の売上までもどしているところが多い。したがって、全体的には判断出来る状況とまではいえない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	人口減の状況の中、一般消費の総額はあがっていないように感じる。復興需要と道路工事が終了した時に急にさびれるのではないかと。特に三陸自動車道の完成、工事は将来の子孫に残しておいた方が良かったのではないかと。そうすれば同じ資産を復興工事に投入できたのではないかと感じる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	増税による負担が少しずつ大きくなっているように感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	生活と一緒に経済についても、被災前にだいぶ近づいてはいますが、この3カ月間は何も変化が無い様に思われます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	建設関係は復興工事で回復していると思うが、他の業種が回復している様には見えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	「あなたの周囲」という風にきかれると、他の方々のことを見なくてはいけない。「あなたの」と聞かれれば、答えることができます。家を流されてしまい。飲食店をやっていたところも2階まで津波にやられて、何も無くなった自分。今は、仮設住宅に入って、仮設店舗で商売をしています。仮設住宅から2年後に災害復興住宅に入る予定。店はあと、3年仮設でやれそうだが、その後の計画はまだ、たてれずにいます。周りを見る余裕もなく、いっしょけんめいに生きています。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	各業種共に生活水準に大きな変化は感じられないが、主に高齢化により再生されたインフラ、生産体制が十分に活用されていない様に見られる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	被災した街場にぽつぽつと家が建ってきたが、人通りがなく、まだ、街が形成されていない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	漁業に関しては、仕事だけは順調になってきたが、再開のために相当無理な借り入れをせざる得なかったので支払いが始まった人も、これからの人も今からが本当に大変になってくると思われます。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	養殖業は回復しつつあると思うが、その他の漁が少なく感じたので・・・。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	かさ上げ工事で仮設商店の移動などでまちなみがかわってくる。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	漁業関連施設の復旧は進んでいるが、水産業の高齢化が進み、担い手不足が深刻です。水産物の価格の低迷が続き（震災前からではあるが・・・）漁業者の収入減が原因ではあるのですが。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	3か月の間は全くの変化がない様に思われますが、ダンプの車と遠くから働きに来ている人達が前より多い様です。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	人手不足による賃金の高騰、求人の2極化により資格のない若者の地区外流出が進み、今は良いが先行が不安。中高年の就業者が多く、サービス業までの影響は少ない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設業の特需は相変わらずだが、将来的な地域経済の回復という点では、不安もある。国が地方創生と明言したが、結局は地元住民との考えの擦り合わせが上手くいくかだと思う。国だけが突っ走るのではなく、地方と足並みを揃えて活動していけたらと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	地域経済の回復、発展に向けた学習会を通し、様々な取り組みやチャレンジが行われているが、その検証も必要な時期になってきていると感じる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	地域の経済基盤は十分とは言えない。地域に根ざした産業の育成のメドが立たなければこの地域の将来は危ういと思う。外部産業の導入ではたちゆかなくなる。地域産業の育成を希む。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	商店街や会社などに新しい動きが見えないので。また雇用についてもよくわからないので。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	農業・水産業など、生産体制が整ってきたとの話をよく聞く。ただ、生産量が回復していないらしく。まだまだ、苦しい状況は続くと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	被災企業で、せっかく自力で店舗を再開したのに経営が思わしくなくて、倒産したのを見ると切ない気持ちでいっぱいになる。どうにか助かる方法はなかったのか。昔から知っている人たちなので、残念でならない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	どうしても工事関係は大手の会社が入り、商業にしてもやはり大手の店舗が注目されがちである。地元の商店街の活性化にはつながっていない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	第一次産業に比べ、第三次産業の回復はほど遠いように思う。人口流出の中、特に商業関係の回復は厳しいように思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	経済的には他地域からの工事関係者が多く来ているので、今は潤っている部分もあるかもしれませんが、実際、地元の人がどの程度地元で消費しているのか疑問です？我が家でも他地域に行って買い物することが多い気がします。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	飲食業、スーパー、建設業、水産関係は人材不足も言われていますが、今現在は好調のような気がします。ただ、将来的にみると不安なような気がします。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特になし
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	前回とあまり変わっていないと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	新しい店舗も建ってきたが、まだ仮設店舗の店もあるのでどちらとも言えない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	食料品などは、回復しているが市外への買い物に行くことが多くなっている様です。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	この3カ月で特に変化は感じられません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	何かめだつて動きはないように感じる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	町全体が被災した地域はまだ商店などは仮設のままの営業で回復したと言えないと思う。仮設から本格的な再建、営業までも本当に行けるのか？という声もきく。水産業などはずいぶん回復してきているようにみえる。加工業は人が足りているのかはわからないが、以前より働く人が減っているのではないだろうか。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	主要地場産業である漁業、水産加工業分野においてはかなり回復したように感じられるが、その他の業種においてはまだまだだと思ふ。また、再開発により盛土がはじまり、再開していた店舗でも閉店、休業を余議なくされているところがある。そのような企業にとっては、回復途上にあるとはもはや言えないのではないかと。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	急速に回復を実感した時期もあったが、この頃停滞したのか、あまり感じない。例えばスーパーや、大型店などの客足を見ても、以前より少ないように感じる。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	11月（8月）の調査のときの回答と同じである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自身も夜飲みに出掛ける回数が減った。人通りも少ないと感じる。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	県などの支援制度もおちつき、今後は自力で生産性を高めていかなければならない。水産養殖は特に先行き不透明で不安!!
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	一時は補助金等により、工場や事業所の再建など進んだが建物はできてても事業内容はきびしくなるとかやっている所が多くあるように思われる。市外に若い人が出てしまつて、自宅等の再建もしてないので、人手がたりないところもあるようで、これからの事業についても厳しいと思う。実際の震災後の内容がないので、お金も借りにくくなっているのが本当のところ。支援があるといつても事業内容の良い所にはかすけど、そうでない所にはなかなかまわってこないようです。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	被災した基盤の復旧は少しずつ進んでいるようであるが、復旧後の質の改良は、まだまだ10年単位を要すると思う。又、高台の都市計画変更造成により、生産基盤が大きく減少しているのも現実である。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	特に変化したようにはみえない。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	働き手が不足していると聞く。若者が生きがいを持って働ける場があれば、経済も回復、発展するだろうが、今はその実感が全くない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	金融面や制度面の説明や支援をわかりやすくしてもらいたい。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	(1) 若年者の流出が続いており、今後の地元経済の先行きが心配です。 (2) 直近の3カ月で見ると進んでいない感じがする。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	ここ数カ月で言えば、ほとんど変化は見られていないように感じる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	水産業は漁に左右されるので、資源が回復しないと生活は厳しいと思います。福祉分野は人材不足のため、急ぎ対応が必要と思います。利用者の受け入れを制限せざるをえない状況が町内施設（全体）において課題となっています。介護職員がやめていく一方で、補充できない厳しい状況がつついています。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	震災前から地域経済は良くなかった。人口は減ったが、特に疲弊感はない。復興で雇用がある為と思う。この3カ月では特に変化を感じない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農林水産業（1～3次産業）の回復は、手に取るように解りますが、小売業やサービス業は、中弛みの感じです。（災害地への観光旅行者の減少で、本来の住民生活の消費に戻ったのかな？）
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちづくりと言うが、何処が災害に強いまちづくりですか。防潮堤や避難路の整備もろくに成されていないのに。盛土などしてまちの形成も大事だが、防潮堤や避難路などの整備も急ぐべきだ。それも住民の安全や安心感を与えるものではないか。防潮堤や避難路がろくに整備されていない場所に宅地や災害公営住宅を整備されても安心して生活が出来ない。
回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	店舗を構えた事業者が少しずつ見られるようになってきましたが、陸前高田市はかさ上げ終了後に、その上に商店街をつくる予定なので、地域経済はまだまだであるという見解をもっています。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	変化を感じる事は少ないと思います。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	自分のことで、精一杯で地域経済のことはわからない。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	県の取り組み内容が分からないために、それに即して、どの程度回復・進捗したかが分からない。
わからない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	食堂や会社等の建物は新しくなり大きくなり事業を始められている部分もたくさん見られる。一方、農業で田畑が整備されず三年たち、生活のリズムが崩れと同時に心のリズムも崩れ、心療内科通いをしている人もいます。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	防潮堤の工事が着工できるというのをニュースでやっていた。ようやくはじまるんだなと思った。地元の田老は、すすんでいるのか、わからない。（防潮堤が）道路のかさあげの方を重視で行っているようで、そっちはすごく進んでいるようです。
達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	整備はほぼ終わっているが、今後は個々の意識次第かと思われる。日常生活に戻り、災害時の記憶が薄れてきているような気がする。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大船渡は3/1から、復興拠点地域にホテル建設がスタートする等、確実に安全な町づくりが進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	公共工事は着実に進んでいると感じる。未だ、裏通りの歩道、排水等の整備不十分だと思う。市道、県道に凸凹が所に有り、整備不十分を感じる。夜間、交差点付近が暗く歩行者の確認が容易ではない場所がある。照明の充実を願います。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地域の海岸線の防潮堤工事が始まった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	野田村の防潮堤工事を見ると日に日に進んでいると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	川の高潮対策工事は進んでいます。海の防潮堤の整備は部分的に工事が行われています。進んでいないのは、用地交渉の難航が工事の不落なのでしょうか。気にかかっています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	1. 防潮堤工事が順調に進んでいるように見える。2. 県道の嵩上げ工事は今年度から本格工事が始まると聞いている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤、堤防等の整備がかなり進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防波堤の工事どこでも進んでいるように見える。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	河川堤防のかさ上げは進んでいるが防潮堤は進まなくなった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	土盛り等の工事は進んでいる。防潮堤の工事も始まるのだろうか、巨額の費用を投下しても住人は減る一方なのではないだろうか。（住人の老化等をふくめて。）就業の方をきちんと考えて行かないと、住人のいない所に防潮堤だけのこるのではないかな。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の防潮堤が進んでいる
やや達成した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	嵩上げや防潮堤工事は進んでいる。地元住民との調整等の苦労もあるようですが、確実に進んでいます。冬場になり、工事車両の事故も聞こえており、（交通量も増え）安全運転で作業してほしいと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	今の現状での避難訓練等が行われているなど、対策は進んでいる。警報等で「予想される津波の高さ」とともに、「標高 mまで避難して下さい」というのもあっていいかな。（3mの津波なら20m以上のところに避難とか）
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備が少しずつではあるが、着実に進んでいる感がある。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	土地のかさあげや堤防等の工事がいたるところで、行われるようになったのが実感。工事車両もとても多くなった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の整備が順調に進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	かさ増した土地が増えたため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	災害に対しては、これからも地道に取り組んでいかなければならないと思う。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	ようやく防潮堤の工事が様子が目に見えるようになってきた。まだまだ完成にはほど遠いが進みはじめた感じはしている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	自宅前の堤防工事が順調に進んでいるようです。工事の方々、関係者の方々に感謝します。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤等の工事が着々と進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	私の住んでいる久慈湊地区の自宅うしろ（50m位）の堤防の工事が始まりました。一週間位前から、堤防等をこわしており、けさの地震で津波が20cmでしたけど、不安な気持ちになりました。いつ地震があるか？早く防潮堤が完成してほしいと思いました。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	学校、幼稚園の新築工事が始まっていて、子供が安心して通学できる環境が整いつつある。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	島越駅の完成で、その中にある住宅は大分安心して生活できるようになったようです。以前の堤防より強いもののができ始め、道路も少し安心して通れるようになりました。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	堤防などの工事が進んでおり、安心感はあるが、まだ完成していないので、早く完成してほしいと思う。また、道路建設は進み、その進捗状況を皆さん関心をもってみているようだ。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	まだ姿が見えない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	全体的には達成とは言い難いのかな・・と思いますが、着々と進んでいると思います。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	日常の生活の中で、目にする範囲の中では、特に環境整備を実感できない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	最近の3カ月位では、あまり目立って工事の方も進み具合が目立っていない気がします。震災直後の3カ月毎は大きく目立ちましたが、この頃進み具合がわかりません。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は一部始まり、また三陸道の工事でも進んでいる様ですが、まだ、別な地区では防潮堤などの説明会を現在もしている様な状況です。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	工事途上であり、完成形が見えないと何とも言えない。又、計画の変更は有り得ると思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちづくりの達成度との事ですが、私達の地域（両石）は27年1月現在、町がどの様にかかわるか、確実性のある説明がありません。最終的に29年度の完成との事ですが待ち切れないので（鵜住居町）自立再建致しました。もっと確実性のある、変更のない物の説明あって良いと思います。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	商業地域の土盛り工事や、被災地域宅地再建のための、嵩上げ工事が進んできた。前回に「被災を受けた柳沢地区の都市計画地域は、住宅建設が進み、大型店舗も進出した。にも関わらず、国道45号線の復旧はされたものの、防潮堤の建設が進んでいない。」と書いた。柳沢地区の被災公営住宅復旧工事が始まり、4月から入居が始まり世帯・人口増加となるようであるが、肝心の防潮堤の整備がまったく進んでいない。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んでいる様に見受けます。ただし、河川の堤防は、いまだ未着工で、周辺の住民は不安を感じています。早く堤防が完成し、安全な場所で生活したいです。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	町民の為の安全な町作りで今、盛土工事、造成工事、河川の改修工事等でダンプが忙しく走り回っています。何年後であれ、動き出した事で先が少し見えてきた感じです。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	今回の災害も含めて、過去の津波災害の経験がいかされていない。シミュレーションに頼るのは危険であり、再び人命が失われる。自然の地形を活用し、再び人命や財産が失われることのないように、まちづくりをすべきである。想定外という言葉はもうたくさんだ。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	港の整備はだいぶ進んで来たが、水門やかさあげが終わりの見えない、先の見えない、状況が続いています。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	三陸道の建設がいろいろな場所で目立つ様になってきた。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	岸壁、防波堤の工事は、進んでいるが防潮堤の工事は、これからで避難道路はまださきのようだ。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	簡単に出来る物ではないので徐々に進んでいる様に見えます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ハード面ではまだまだだと思うが。地域の人々の防災意識は少しずつ高まっていると思う。これから先のことを考える時、教育によるところが大きく学校教育では防災教育がよくなされていると思うので、それらをどのように各年代層につなげるのかが、重要だと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	災害に強いまちにはまだなっていないが、工事が進み、なりつつある事がわかる。ダンプカーや重機の数が増え、今、まさに新しいまちづくりの途中であると感ずる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	目に見えない所では進んでいるかもしれないが、住民への情報発信が乏しいように思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台の整備が進み、住宅の計画が進んでいる一方で、避難した区域の安全なまちづくりは充実したとは思えない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちづくりは始まったばかりで、これからという感じがしています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	避難方策の周知・充実を最優先でお願いします。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	高浜地区の防潮堤工事が行われているが、いつ頃できるのだろう。（通学路になるので早いことが望まれるが・・・）赤前地区の道路については、どうなっているのだろう？鉄道も三鉄移行になるようだが、具体的には修復はどうなるのだろうか？
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	浸水地域の盛り土もどんどん進んでいるように見えますが、防波堤工事は実際近くに行くと目にする機会もなく、よく判りません。2年ぐらい前に「浸水地域を通る県道に歩道が整備されていなく危険!!」と書かせていただきましたが、先日とうとう死亡事故が発生してしまいました。いづれ盛り土する地域だからと手を付けなかったのか？狭くても歩道を整備していれば防げた事故ではなかったのか？
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	特になし
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	少しずつだが進んでいると思うが、まだまだだと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の建設は進んでいるようだが、今、もし津波が来たら対応できるのが不安を感じた。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	盛土をしたり、高台への造成工事、地盤沈下した場所も復旧して来ました。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	(1) 防潮堤のかさ上げ工事や道路工事は順調に進んでいるように見えるが、一方、住民の災害に対する意識変化は時間とともに顕著に表れてきている。行政として住民の安全確保のためいろいろな対策を講じているが、時間とともに防災・減災に対する意識が減少してきた感じがする。(2) 前記に同じ。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	工事車両は確かに多いけれど、達成には・・・。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	国道45号線の朝6時過ぎから多くの復興関連の工事関係者の通勤ラッシュを見ると、復興工事は進んでいると感じる。防潮堤も少しずつは高く成っていると思うが、完成時の高さまで盛土が上がらないと実際に達成したと実感がないと思います。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	新しく作られている防潮堤を見てその高さに驚いた。海が全く見えない状況で、地域での防災意識を今後保ちつづけ、まとめていくことはますます難しくなるのではないかと感じた。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地などの整備は既に完成したり、或いはかなり進んでいるが、防潮堤、避難路、第3堤防の工事は進んでおらず、不安感を抱いている人が多くいるように思う。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤や道路のかさ上げ等、目に見える「災害に強い安全なまちづくり」はかなり前進していると思うが、防災教育等の人づくりの面は改善の余地があるのではないのでしょうか。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	進む事は進んでいるが、完成には、ほど遠い。釜石の市内は街の形としては、少しずつ回復しているが、堤防はまだなので、安全とは言えない。鶴住居や片岸や両石は、堤防が手がつき始まったところなので、数年はかかりそうだ。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤工事も徐々に進んでおりますが、防集団地等に伴う、盛土工事だけが目に見えて人命が失われる恐れがある。防潮堤の姿が見えないのが残念である。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤、第3堤防、土地の嵩上げ等まだまだ工事中であり、工事が完成しなければ安心・安全な街作りとはいかないと思う。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤の説明があるが手もつけられていない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	工事は順調に進んでいる様子。行き交うトラックの台数が多く工事の音も身近に聞こえる。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	野田村中心部に新たに作られている第3堤防は、土砂を盛り上げる工事が盛んに進められている。道路（三陸道）の工事も始まっている。一方では、海沿いの堤防工事はほとんど進んでいないように思われる。被災後、4年になろうとしているが、これは、かなり遅いと感じる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	目に見えた変化は感じる様になってきたと思います。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	少しずつ防潮堤の整備が進んでいるのは目に見えてわかるが、高くすることが安全であるとは思わないし景観が変わってしまうのは淋しくもある。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の工事は行っているが、目に見える部分ではあまり進んでいるようには思えない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	11月の調査のときの回答と同じである。防潮堤の復旧に関しては、地盤沈下した山側の第2線堤が嵩上げされ、1カ所に限定された陸間の拡張工事着工が待たれるところである。これまで復旧が手付かずの状態であった海側の第1線堤の復旧計画が最近になって県から示され、その概要が明らかになり、また、壊れた防潮堤の一部が解体されると共に、新たな水門の基礎工事が始まるなど、動きが見られるようになった。一方、避難経路や避難所の設置等については、その後、動きが見られない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の復旧に当り住民合意がないまま建設が始まっており、震災前より防潮堤高を高くする工事となっているが、今日の被災防潮堤の耐力度の検証されないまま建設に至っているが、問題と思う。そして、コンクリートの耐久力が50～60年と聞くが、その後、メンテナンスの予算を考えると、後世に課題を残す物と思う。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤、高台移転とも工事は進みつつあるが、完成にはまだまだという感じがする。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤整備工事中です。まだ、工事が手をつけないとあります。一日も早い復興をお願いします。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤がないので、1mの津波でもこわいと思う。工事は進んでいると思うけど、目に見えてこないので実感がない防潮堤がない状態でのひなんについて最近は何となく思っていると思う。現在の状況にあった災害に強い安全な行動についてもっとアピールする必要があると思う。特に今は県外からの工事関係者が多いのでそう思う。未だに防潮堤の高さや、構造について見直しをとる学者や住民がいるのもう一度というか出来るまで毎年説明する必要があると思う。（たいへんめんどうだとは思いますが）
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	「災害」とは津波のみであるならば、全てのインフラを高台に持って行けば良いのですが、高台周辺の従前からのインフラが古いタイプで小さいので大雨等で土砂くずれ、土石流にもなりうる。高台造成で新しい地型となったので、流れ方が、ずい分と変化して行くのが心配である。（前回と基本的に同じ）
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	地盤沈下をしたままで何も整備されていないため。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の建設がまだ着工されていないので、上記のように感じます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	沿岸部では盛土作業が進んでるが、外観の風景がイメージ出来ず、完成しなければ、実感できない気持ちです。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	広範囲が海に面しており、仕方が無い事かも知れませんが、まだまだ再建が始まったばかりに思えます。今また津波が来たら一気に流れ込んできます。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	ようやく防波堤の工事が始まりましたが、工事が終わるまで不安です。
達成していない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	女	海岸周辺の整備が進んでいるようだが、岩手はこんなに山があるのに嵩上げするというのは……。津波経験しているので安心感がほしい。（ここにはこないという）
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	毎日、通勤で鶴住居の町を通っているが、何も変化はありません。もし、また津波が来たら……。命の保障は今のところありません。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	防潮堤の整備がまだ。
わからない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤については、整備が遅れており、町内に建物が建った後に完成する予定からいけば、「安全なまちづくり」とは言えない。（先に防潮堤整備では？）避難方策についても、防潮堤の内側で働く、水産関係従事者の避難経路が限定されるなど……。
わからない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	工事車両は多く見られるが、防潮堤工事はあまり進んでいない様です。
わからない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	”まちづくり”は確実に進んでいます。でも、進行方向が違うのではないかな？と思う事柄が多々感じられます。安全が先なのか行政の都合縦割が優先なのか、復興の名を借りた復旧・区画整理と防集地区の違いを霧中状したり……。気が付くと、○→□△になりました。こうしないと復興予算が出ません的な事が目につきます。
わからない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	浸水した地区は未だ町になっていない。
わからない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤、復興道路の計画がどのようなもので、どの程度進んでいるかわからない。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	盛り土をする地域は日増に風景がかわっていますが、移転する土地の整備はまだまだかかりそうな様子に思えます。

**【自由記載集：掲載にあたって】**

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成27年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成27年3月26日  
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6945